

家庭学習時間

- 全学年統一
- 1時間30分以上**
(課題+自主学習)
- 毎日学習しよう!
 - 勉強を始める時間を決めて守ろう!
 - 家庭学習を終えたら、先生に提出しよう!
 - テスト前は「学年+1時間」勉強しよう!

習慣化のポイント

- 基本的な生活習慣
 - 早寝、早起き、朝ごはん
 - 時間を守る
 - 気持ちの良い挨拶、返事
 - 身の回りの整理整頓
 - きれいな言葉づかい
- 学習環境
 - 勉強は決まった場所で行う
 - 一定の時間で行う
 - テレビは消す
 - 時間を決めて計画的に取り組む



国語

- 漢字練習は、「漢字練習ノート」を使って練習する。繰り返し繰り返し行う。
- 文法について、ワークの文法問題や授業等で配布したプリントを繰り返し行う。
- 難解語句については、「このことは帳」(ノート)を作り、辞書で意味調べを行い調べたものを記録する。
- 教科書の音読を行う。
- 国語ワークをテストまで最低でも3回は行う。はじめは答えを見ないように、わからなかったら答えを写す。そして、解答を必ず読んで、どうしてこの答えになるかを考えて説明できるようにする。
- 宿題は、必ず行う。
- 近代の文学作品(漱石、鴎外、芥川、藤村…等の明治～昭和の文学)を読む。
- 新聞をよむ。

- 漢字検定(中学生の目安として～2級まで)
→わからないことがあれば国語担当教諭まで
- 文法については、問題集(薄いものでいいです)を購入してチャレンジする。
- 読解の問題集を購入し、繰り返し解いてみる。問題集を購入する際は、問題集の厚さよりも解答編の分厚いものを選ぶ。解き終わったら解答の解説を必ず読んで、どうしてこの答えになるかを考えて納得できるようにする。
- 自分の読書を記録する読書ノートを作る。100冊を目標に近現代の作家の文章を読む。
- 教科書の古文を暗唱するくらい音読する。

数学

- 授業で習ったことは、その日のうちに復習する。
- 「ワーク」や「計算の反復練習」のA問題、「Navima」を繰り返し取り組む。
- 教科書に書いてある重要語句は暗記せずに意味まで理解する。
例)「単項式」とは、乗法だけでつくられた式である。
- 計算については、答えだけではなく途中計算も書く。
- 得意な内容だけではなく、苦手な部分にも積極的に取り組む。
- 間違えた問題は、どうして間違えたのか理由をしっかりと考え、メモ程度でもよいので空きスペースに書いておく。

- 「ワーク」や「計算の反復練習」のB問題に取り組む。
- 問題集を購入し、繰り返し解く。
→初めから難しいものにはせず、「これならできそう」と思ったものから始めてみましょう。
- これまでの定期テストや学力テストを解き直す。
- 高校の入試問題にチャレンジしてみる。
→1年生でも解ける問題は、毎年出ています。
- 自分で問題を作成して解く。

社会

- 《ノート・ワークシートの復習》
その日の内容をもう一度思い出すためにノートやプリントを見直しましょう!
- 《ワークに取り組む!》
問題に慣れることがテストで得点するための一番の近道です。
- 《世の中のことに関心をもとう!》
その名の通り『社会』は世の中のことと密接にかかわりあっています。授業でやった内容がテレビでやっていたり、ニュースの内容が教科書に載っていたりします。ぜひ、ニュースを見る習慣をつけてください。

- 《赤シートを使って何度も!》
赤やオレンジで書いたノートやワーク、プリントを何度も赤シートで隠して復習しましょう。
- 《記述式の問題もやろう!》
「書くのが面倒くさい…」という人がいますが、自分の力で文章を書く力は入試でも問われます。面倒くささらず取り組みましょう。
- 《わからないことは調べてみよう!》
授業の内容はもちろん、ニュースで気になった事やわからなかったことはインターネットで調べたり、先生に聞いてみたりしましょう。

理科

- 授業内容を振り返るために、ノート・教科書・プリントを見返す。
- ワークの問題を何も見ずに一度解く。分からない部分や、間違えた問題は答えを見て、何故その答えなのか納得できるようにする。
- 分からない部分は自分で調べたり、人に聞いたりする。

- 自分で授業内容をノートにまとめる。
- 教科書の端の※部分も読む。
- 参考書や問題集を購入し、繰り返し解いてみる。
※問題集を購入する際は、解説がしっかり書かれているものを選ぶ。
- ※参考書を購入する際には高校以降の内容にまで触れている場合があるので、よく読んでから購入すること。
- 身近な事物・現象や自分が興味をもった事柄について調べて、まとめる。

英語

- ワークを何度も!
- ・ワークの解答と解説+赤シートで問題を解く。家庭学習ノートに答えを書こう。
- ・丸付けをする。間違いはチェックしておく。
- ・間違ったところは何度も解く。
- ・疑問点は先生などに尋ねる!

- 教科書を有効に!
- ・デジタル教科書の語句・本文コンテンツを使って、自分に合った音読をする。(レベルアップを目指そう)
- ・文を暗記して、一気に書く。

- 単語も問題形式で!
- ・横に何度も書くのではなく、ワークシートなどを使い、英語を隠して書く。見なくても書けるようになるまで。

- インターネットを使ってリスニング練習!
- NHK ラジオ「中学生の基礎英語レベル2」のストリーミングを聞こう!
- 洋楽・洋画などを視聴し、英語に触れよう!
- 今年度中に英検4級に挑戦しよう!
英検のサイトから過去問を見ることが出来ます。

基本

発展